

平成30年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝(6:00から9:59時まで)、昼(10:00から13:59まで)
 夕方(14:00から17:59まで)、夜(18:00から21:59まで)、
 深夜(22:00から1:59まで)、早朝(2:00時から5:59まで)

※ は、広報等で活用する際、非公開とする項目

件数	月	日	発生時間	時間区分※	市町村	建物種類	設置の経緯	感知したタイプ	出火場所	設置場所(鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
1	1	10	9:18	朝	札幌市	戸建住宅	居住者が設置	煙式	居間	階段	ストーブ	居住者	灯油ストーブの輻射熱により可燃物が着火	発見者は、居間にいたところ、住宅用火災警報器の警報音が鳴り、室内を見渡したところ、灯油ストーブ付近にあったぬいぐるみから白煙が上がっていた。ぬいぐるみを台所のシンクへ運び、119番通報を依頼するため、屋外へ出て通報者に依頼後、室内へ戻り自然鎮火を確認したものの。
2	1	12	16:50頃	夕方	大空町	戸建住宅	平成21年に「高齢者住宅用火災警報器給付事業」にて給付設置	煙式	居間	その他(居間・不明を含む)	ストーブ	居住者	ストーブの燃焼熱により天板の可燃物が燃焼部に溶融落下し着火	居住者が和室のポータブルストーブ天板にホットプレートに乗せたままストーブを点火し、隣接の居間にいたところ、「火事です」と音声がかえったため襦をあげると、ストーブより炎が上がっていた。ストーブ等をタオルケットで包むと火勢がおさまったため、更に毛布で包み屋外へ出し、雪にて消火する。当日通報せず、後日災証明書の間い合わせをしたことから、消防覚知となった。
3	1	23	9:23	朝	札幌市	戸建住宅	居住者が設置	煙式	居間	階段	ストーブ	居住者	灯油ストーブの輻射熱により可燃物が着火	ストーブの前に置いた椅子の上で乾かしていた衣類が、ストーブの輻射熱により発火し、椅子に燃え広がりが火災化したものの。
4	1	29	6:56	朝	江別市	戸建住宅	不明	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	魚焼きグリルで魚を焼いたまま忘れたもの(非火)	居住者がガスこんろの魚焼きグリルを点火したことを忘れ、焼いているものが炭化して台所に設置している住宅用火災警報器が発報し、通報。消防隊到着時、屋内は白煙が充満した状態でグリル内は炭化のみで焼損はなかった。
5	2	15	11:15	昼	赤平市	戸建住宅		煙式	就寝室	就寝室	たばこ	居住者	たばこの火種が布団に落下	居住者が居間でテレビを見ていたところ、寝室に設置してある住宅用火災警報器が鳴動していることに気づき、寝室のドアを開けたところ煙が充満していたため119番通報した。
6	2	23	5:20	早朝	古平町	その他	譲与事業にて設置	煙式	その他(調査中を含む。)	その他(居間・不明を含む)	ストーブ	居住者	ストーブの異常燃焼	1階の居住者が、起床し1階の談話室に設置されているストーブのスイッチを入れたところエラー表示となり、屋内排気筒付近から白煙が揚がりそこに設置されている住宅用火災警報器(連動型)が発報したため、居住者全員に呼びかけ、屋外へ避難させた。
7	2	25	20:48	夜	札幌市	戸建住宅	所有者が設置	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	魚焼きグリルで魚を焼き、煙が発生	居住者が魚焼きグリルで魚を焼いていたところ、そのまま寝てしまい、煙が発生。住宅用火災警報器が発報し、警備会社に火災信号が入電、警備会社から119番通報したものの。火災現象なし。
8	3	8	0:10	深夜	新ひだか町	アパート・マンション等	平成18年所有者が設置	煙式	台所	就寝室	こんろ	隣人	鍋に火をかけたIHこんろを放置したものの	居住者が煮魚を調理するため鍋に火を掛けた状態で寝てしまった。その後、警報音に気づいた隣人が呼び鈴を押すも、居住者が出てこないため、大家を呼び家に入ると室内に煙が充満していた。隣人と大家が協力し火を止め、119番通報を実施、居住者を起こし窓を開けて換気したものの。
9	3	11	11:00	朝	釧路市	アパート・マンション等	市営住宅管理会社が設置	煙式	台所	その他(居間・不明を含む)	こんろ	居住者	魚を焼き、その場を離れたもの	台所の都市ガステーブルグリルで魚を焼いている最中に、その場を離れ寝てしまったため、魚が焦げ室内に煙が充満したことで、居間に設置する住宅用火災警報器が作動し、鳴動音で気付いた居住者がグリルのスイッチを遮断したことから、火災には至らなかったもの。
10	4	3	7時20分頃	朝	石狩市	専用住宅	新築時に設置	煙式	就寝室	就寝室	火遊び	居住者	子どもの火遊びを中心に調査中。居室の壁面及び取容物を焼損した。	母親が1階のキッチンにいたところ、2階の住宅用火災警報器が鳴動し、2階に居た子どもから「火が出ている」という声を聞いたことから、確認に向かったところ居室内の火災現象を確認した。母親は子どもたちと協力し、鍋とバケツに水を溜めて初期消火を行い大事に至らなかったもの。その後、関係者から消防へ通報した。

平成30年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝(6:00から9:59時まで)、昼(10:00から13:59まで)
夕方(14:00から17:59まで)、夜(18:00から21:59まで)、
深夜(22:00から1:59まで)、早朝(2:00時から5:59まで)

※ [] は、広報等で活用する際、非公開とする項目

件数	月	日	発生時間	時間区分※	市町村	建物種類	設置の経緯	感知したタイプ	出火場所	設置場所(鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
11	4	26	12:35	昼	釧路市	戸建住宅	平成29年6月に設置	煙	就寝室	就寝室	たばこ	居住者	たばこの吸殻を完全消火せずに、ごみ箱に捨てたもの。	2階寝室で喫煙後、完全消火せずに、たばこの吸殻を、ごみ箱に捨てたため、ごみ箱内の可燃ごみに、残っていたたばこの火種が着火し出火したもので、住宅用火災警報器の鳴動音で気付いた居住者が初期消火したため火災が拡大しなかったもの。
12	4	8	2:14	早朝	倶知安町	アパート・マンション等	所有者が設置	煙式	台所	台所	こんろ	その他	フライパンで調理中の食材が焦げ、煙が発生したもの(非火災)	居住者が遠隔地にいる者と電話をしながら、フライパンで調理をしていたところ寝てしまい、台所に設置していた住宅用火災警報器が鳴動、電話越しに鳴動を確認したため、遠隔地の者が通報したもの。火災現象なし。
13	5	16	9:40	朝	幕別町	アパート・マンション等	平成25年10月22日に緊急通報システムと連動した住宅用火災警報器を設置したもの。	煙式	台所	その他(居間・不明を含む)	こんろ	緊急通報システム	ガスコンロ(魚焼きグリル)の空焼き	緊急通報システムの煙感知器が発報し、北海道健康づくり財団より消防署への通報にて覚知したのも。消防隊到着時、居住者は不在であり煙感知器が鳴動している状態で、ガスコンロ(魚焼きグリル)が点火されていた。消防隊によりガスコンロの火を消したため火災には至らなかったもの。
14	5	17	11:50	昼	江差町	戸建住宅	居住者(所有者)が設置	煙式	台所	就寝室	こんろ	居住者	ガスコンロで加熱中の鍋の水分が蒸発して鍋が空焚き状態となり煙が発生(非火災)	居住者が鍋をガスコンロにかけたまま居間でテレビを見ていたところ、徐々に煙が居室内に充満していき、1階寝室の住宅用火災警報器が作動した。その後、台所から「ドンッ」という音が聞こえたことから、急いでガスコンロを止めて消防署へ通報したことで、火災に至らなかったもの。
15	5	20	21:35	夜	士別市	アパート・マンション等	市営住宅のため市で設置	煙式	その他(調査中を含む。)	その他(居間・不明を含む)	電気	居住者	テーブルタップ付近からの出火	不在であった子ども部屋の電気タップ付近から煙が上がり、天井に設置されていた住宅用火災警報器が発報したもの。通報者は就寝中であつたが、住宅用火災警報器の音声に気づき確認しに行くくと、電源タップ付近が燃えていたため、側にあったバスタオルを当て消火し、その後、消防へ通報したのも。
16	5	23	8:05	朝	夕張市	戸建住宅	平成23年11月緊急通報システム設置	煙式	台所	台所	こんろ	緊急通報システム	鍋の空焚き	居住者が味噌汁をガスコンロで温めベッドで横になっていたところ、空焚き状態となり緊急通報システムの煙センサーが発報、消防からの呼びかけで本人が気づきコンロの火を消したのも。
17	5	4	5:16	早朝	札幌市	アパート・マンション等	平成20年建物所有者	煙式	就寝室	就寝室	その他(調査中を含む。)	入居者	電気関係からの出火について調査中	1階の寝室で就寝中、住宅用火災警報器の警報音で目が覚め確認したところ、隣の寝室にある段ボール付近から壁に向かって約1mの炎が出ているのを確認し、居住者がバケツや洗面器で水を掛けただけ、近隣居住者が消火器3本使用し初期消火したのも。
18	5	22	6:35	朝	札幌市	戸建住宅	不明	煙式	台所	台所	その他(調査中を含む。)	入居者	電子レンジで調理品を加熱し過ぎたもの	1階台所の電子レンジで冷凍食品を加熱していたところ、設定時間を誤ったため冷凍食品から煙が発生し、発報したのも。
19	6	4	7:40	朝	余市町	アパート・マンション等	町により設置(設置年月不明)	煙式	台所	その他(居間・不明を含む)	こんろ	居住者	調理中のうたた寝が原因で、ガステーブルで調理していた鍋の水分が全て蒸発し空焚き状態となり、熱を帯びガステーブル周辺の油脂に着火したのも。	居住者が7時00頃、台所のガステーブルに水を張った鍋をかけたままうたた寝してしまい、7時40分頃、居間に設置してある住宅用火災警報器(煙式)が鳴動したことにより目が覚め火災に気づいた。すぐにガステーブルのスイッチを切り、ガステーブル周辺の油脂に着火していた火を炊飯器の釜に水を汲み消火にあたる。その後、窓を開放し煙を排出する。通報者は付近住民で換気口から白煙が出ているのを確認し119番通報に至る。
20	6	14	2:15	早朝	札幌市	アパート・マンション等	平成22年建物所有者	煙式	台所	その他(不明を含む。)	こんろ	入居者	鍋の内容物の過熱発火	共同住宅一室の台所で、ろうを融かすために鍋にろうを入れて液化石油ガステーブルで火にかけていたが、溶けるまで待っているうちにそのことを忘れて寝てしまった。住宅用火災警報器の警報音で目が覚め確認したところ、台所と居間に煙が充満しており、液化石油ガステーブルから炎が上がりつつあるのを確認したため、寝室から持ってきたシーツで叩き消したのも。その後管理人に報告し119番通報を勧められたため通報した。

平成30年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝(6:00から9:59時まで)、昼(10:00から13:59まで)
夕方(14:00から17:59まで)、夜(18:00から21:59まで)、
深夜(22:00から1:59まで)、早朝(2:00時から5:59まで)

※ は、広報等で活用する際、非公開とする項目

件数	月	日	発生時間	時間区分※	市町村	建物種類	設置の経緯	感知したタイプ	出火場所	設置場所(鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
21	6	18	19:38	夜	札幌市	戸建住宅	平成28年建物所有者	熱式	台所	台所	こんろ	入居者	天ぷら油の過熱発火	居住者が1階台所でフライパン内の天ぷら油を液化石油ガスストーブで加熱していたことを忘れ、居間でテレビを見ていたところ住宅用火災警報器の警報音が鳴り台所を確認すると、フライパン内の天ぷら油に火が入り約1mの炎が立ち上がっておりエアゾール式簡易消火器1本で初期消火したものである。
22	6	14	21:13	夜	札幌市	アパート・マンション等	不明	煙式	就寝室	就寝室	たばこ	入居者	寝たばこにより落下した火種が可燃物に着火	発見及び通報者は食事をした後、ウイスキーの水割りをグラスで2杯飲み、布団で煙草に火をつけたまま寝てしまった。その後、住宅用火災警報器のベル音で目を覚ましたところ、3cmほど炎が敷布団から立ち上がっているのを発見し、浴室のシャワーを使用し火を消し止めたが煙が収まらなかったため、携帯電話で119番通報したものである。
23	6	27	18:03	夜	鹿部町	戸建住宅	平成25年7月に設置	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き	ガスこんろで油の入ったフライパンに火をかけたまま忘れてしまい出火した。夫婦が居間のソファに座っていたところ、台所に設置していた住宅用火災警報器の警報音に気付くと、ガスこんろの火を止め、座布団等を被せた後に水をかけたが、完全に消火しているのか不安となり119番通報を行い屋外へ避難した。
24	7	1	19:50	夜	北斗市	戸建住宅	平成25年に市が設置	熱式	台所	台所	こんろ	緊急通報システム	鍋の空焚き(非火災)	単身高齢者宅の緊急システム火災センサーが発報。呼び返しに応答がないため、消防隊が出動する。家人は、IHクッキングヒーターに鍋をかけたまま、入浴したため、鍋が空焚き状態となり発煙し、台所の住宅用火災警報器(熱式)が警報を発した。IHクッキングヒーターは過熱防止機能により作動停止し鍋の中が焦げたのみでIHクッキングヒーター周辺、住宅内には焼損はなく、火災には至らなかったもの。
25	7	6	18:50	夜	栗山町	戸建住宅	町が設置	煙式	台所	台所	こんろ	緊急通報システム	鍋の空焚き	緊急通報装置の火災警報器が発報、自動連動で警備会社へ通報され、その後、加入電話にて警備会社より連絡があり消防隊に至る。居住者は夕飯を作る為、鍋をIHクッキングヒーターで加熱しその場を離れる。居住者は鍋を加熱していることを忘れてしまい、鍋から煙が出ていても耳が遠く火災警報器が「ピーピー」鳴っていることには気付いていないが警備会社の呼び返し音には気付かなかったとのこと。偶然、親戚が居住者宅を訪れ台所周辺から煙が出ているところを発見する。空焚き鍋以外に焼損は無く、台所周辺の延焼もなし。居室内に煙が充満していた為、親戚により窓等開放し換気する。その後、消防隊が現場到着する。
26	7	7	17:06	夕方	留萌市	アパート・マンション等	平成21年に留萌市で設置	煙式	台所	就寝室	こんろ	隣人	ガスコンロの火の消し忘れ	居住者が2口ガスコンロを使用し、圧力鍋に食材を入れ温めていたが、その後失念し外出したため内容物が炭化し、白煙が発生したことで寝室設置の住宅用火災警報器が発報したもの。同共同住宅居住者が警報音及び当該居室の窓から白煙が揚がっていることに気づき、119番通報を行った事例である。尚、ガスコンロの炎については各戸に設置のガスマーターが長時間のガス使用を感知したことで遮断装置が作動し、ガス供給が停止されたことで消火されていた。
27	7	13	19:00	夜	美深町	戸建住宅	居住者が設置設置年不明	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き	居住者が台所で調理のため鍋に火をかけ、そのまま食事を始めた。その後、鍋から発生した煙で台所に設置した住警器(煙式)が発報。居住者が警報音に気付くと、屋外に避難し自ら119番通報する。通報後、駆け付けた消防隊が住宅内には焼損はなく、火災の危険性がないことを確認する。
28	7	5	16:52	夕方	湧別町	戸建住宅	緊急通報システム(町で設置)	煙式	台所	その他(居間・不明を含む)	こんろ	緊急通報システム	鍋の空焚き	コンロに鍋をかけたまま外出し水分が蒸発。水分以外に残った成分が炭化し煙が発生したため居間に設置の煙感知機が作動し、安全センターへ自動通報されたもの。協力員が駆けつけた直後に本人も帰宅し、鍋の火を止め火災に至らず。
29	8	6	9:12	朝	札幌市	戸建住宅	不明	煙式	台所	台所	こんろ	入居者以外	こんろの消し忘れ	1階北西側の台所のIHこんろで、レトルトカレーを鍋に入れたお湯で温めていたところ、入居者がこんろを消し忘れて出掛けたため、鍋から発生した煙で台所に設置の住宅用火災警報器が火災を感じたことにより、セコムに異常信号が送信され、セコムから119番通報されたものである。
30	8	27	7:55頃	朝	長沼町	戸建住宅	委託契約した管理会社が設置	煙式	台所	その他(不明を含む。)	こんろ	緊急通報システム	ガスコンロに鍋を掛けたままその場を離れた	家人(85歳女性)が、鍋に味噌汁を入れ火をかけたままその場を離れ仏壇でお参りをしていたところ、鍋が過熱され内容物が蒸発し焦げて煙が発生。煙が部屋に充満し居間に設置していた緊急通報システムの煙感知器が作動し、管理会社を通じて消防隊に通報された。家人が警報音に気付くと台所に戻ったところ鍋から煙が出ていたため、鍋をシンク内に移動し水をかけたことで火災に至らなかったものである。

